

12月号
今市工業高等学校
★保健室版



2014年も最後の1ヵ月となりました。入学式や修学旅行、進路実現など、今年はみなさんにとってどんな1年でしたか？

自分自身の健康や生活を振り返り、来年も健康で良い年にしましょうね。何かと忙しい時期ですが、体調に気をつけてよい年末年始を！そして、来年もいろいろな話が聞けることを楽しみにしています！



みなさんから質問が多く寄せられるエイズについて、まとめました。

2014年のテーマ

AIDS IS NOT OVER ~まだ終わっていない~

治療法の進歩により、エイズの原因ウイルスであるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染したHIV陽性者が長く生きていくことが期待できるようになりました。これは、社会ですでに多くのHIV陽性者が働き、学び、生活していることを示します。

職場や学校、医療機関など生活の様々な場所でHIV/エイズに対する差別・偏見の解消等を図り、HIV陽性者が社会で安心して生活できるよう、環境を整えることが一層重要です。

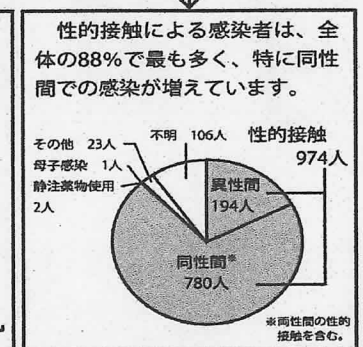
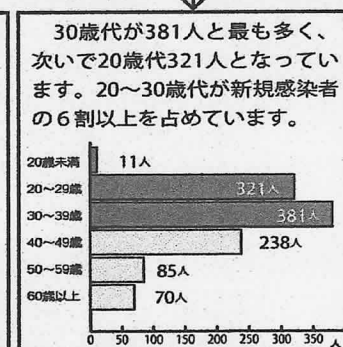
引用 エイズ予防情報ネットより

クイズで学ぼう HIV/AIDS 日本の今

<p>① 日本国内のHIV感染者は、10年前と比べて</p> <p>① 増えている ② 減っている</p>	<p>② 日本国内の1日あたりの新規感染者数は</p> <p>① 1人 ② 2人 ③ 3人</p>	<p>③ HIVの新規感染者が多い年代は</p> <p>① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代</p>	<p>④ 感染経路で、いちばん多いのは</p> <p>① 薬物の静脈注射 ② 性的接触 ③ 母子感染</p>
---	---	--	--



2013年は、1日あたり約3人が新たにHIVに感染しました。2014年は、6月末までの時点で、1日あたり2.9人が感染。過去2番目に感染者が多かった去年と、ほぼ同じペースで増え続けています。



※データ：「平成25年エイズ発生動向年報」厚生労働省エイズ動向委員会、平成26年5月22日

感染経路は
3つ

